



SIG / MOBILE LED GUIDANCE VEHICLE

Disaster Guide

移動式LED誘導トラック

災害時活用のご提案

軽トラックサイズの機動力で、狭い生活道路の奥まで。
大型LEDビジョンで「今、どこに何があるか」をその場で伝える。



CONCEPT

なぜ、軽トラック型LEDビジョンなのか

この車両は、軽自動車をベースに大型LEDビジョンを架装し、広告宣伝車として登録した移動サイネージです。もともとはイベントや店舗販促向けに開発しましたが、熊本での地震をきっかけに「災害時の情報空白」を埋める使い方ができるのではないかと、という声が社内から上がりました。大型の看板車や固定サイネージが入れない狭い生活道路にも、軽トラックのボディサイズならたどり着けます。そこに大画面のLED表示を組み合わせることで、「どこに行けば何が手に入るか」を、被災地の奥まで届けられる誘導塔になります。

01

軽トラックの機動力で、
狭い道の奥まで入れる

02

大型LEDで、遠くからでも
一目で伝わる

03

表示内容はその場で
切り替え・更新できる

04

平常時は広告宣伝車として、
そのまま稼働できる



1台で「平常時」と「災害時」を兼ねる。

新たに専用車両を用意するのではなく、既存の広告宣伝車としての稼働と、災害時の誘導車としての役割を1台で兼ねる考え方です。次のページから、実際の車両写真に案内表示を合成したデモイメージで、具体的な使い方をご紹介します。



DEMO 01 / 避難誘導

「指定避難所はこちら」を、 施設名で分かりやすく

車両自体が走って回るので、徒歩の所要時間ではなく「〇〇公民館」のような施設名で、受け入れ状況（冷房完備、給水ありなど）とあわせてその場でLED表示。防災無線や貼り紙が届きにくい路地にも、車で入って直接知らせられます。

DEMO 02 / 物資・給水

「今日・ここで配っている」を、 通りすがりにも伝える

物資配布や給水の実施場所・時間帯は、日々変わります。

紙の掲示より速く、広報車のアナウンスより視覚的に、

今この瞬間の情報をLEDで流せます。



DEMO 03 / 道路情報

「この先、通れません」を、 現地で直接警告

土砂崩れや道路損傷などで通行止めになった箇所の手前に停車し、
迂回路を大きく表示。標識だけでは気づきにくい状況でも、
目線の高さで警告できます。



USE CASES

想定される活用シーン

災害時の誘導だけでなく、平常時の防災訓練や地域イベントの動線案内にも、そのまま活用できます。



自治体の防災訓練

実際の誘導動線に沿って走行し、住民参加型の避難訓練で表示内容を検証できます。



地域イベントの動線案内

会場までの道順や駐車場の空き状況など、来場者向けの誘導表示にも応用できます。



平常時は広告宣伝車として稼働

災害対応は年に何度もあるものではありません。普段は店舗・商業施設の広告表示として収益化できます。



複数エリアへ機動配置

拠点を固定する屋外ビジョンと異なり、状況の変化に応じて必要な場所へ都度移動できます。



今回ご紹介したのは、活用の一例です。

表示デザインは案件ごとに自由に制作します。自治体の防災計画や地域の実情に合わせて、内容・配置・運用体制をご相談しながら検討いただけます。

CONTACT

導入・デモのご相談

実車の見学、表示デザインのご相談、防災訓練での試験運用など、
まずはお気軽にお問い合わせください。

SPECIAL IDEAS GROUP

株式会社 SIG.

移動式LED誘導トラックのご相談・お見積りは、
下記までご連絡ください。

TEL

092-262-0516

〒812-0023 福岡市博多区奈良屋町1-1 ヤシマ博多ビル5F

01**お問い合わせ**

まずは電話・お打合せで、
活用したい場面や地域の状況をお聞かせください。

02**実車見学・デザイン相談**

実車をご覧いただきながら、
表示内容や運用体制と一緒に
検討します。

03**試験運用・本導入**

防災訓練などでの試験運用を経て、
本格的な導入をご検討いただけます。



本資料について： P3～P5に掲載した表示イメージは、実車の写真に案内デザイン案を合成した
デモンストレーション画像です。実際の表示内容・輝度・視認性は現車での確認をお願いいたします。
掲載の車両仕様・登録区分は制作時点のものであり、実際の導入にあたっては別途最新の情報を
ご確認ください。